

⚠️ 特にご注意いただきたい方

- 自分の体を支えられずサイドレールなどに倒れ込む可能性のある方
- 自力で危険な状態から回避することができないと思われる方
- 認知機能障害などにより、ベッド上で予測できない行動をとられると思われる方
- 片マヒなどの障害などにより、体位を自分で保持できない方

医療・介護関係の皆さまにご対応いただきたいこと

- ▶ メーカーのオプション製品やクッション、毛布などですき間を埋める
- ▶ 危険な状態になっていないか、随時ベッドを利用する方の目視確認を行う
- ▶ そばから離れる際は、ベッドの高さを一番低くし、ボトムを平らに戻す

医療・介護ベッドの耐用期間について

電気製品を壊れるまで使い続ける場合が少なくありません。

しかしながら、電気製品を過度に長期間使用されると、部品や材料に劣化が生じ、火災事故などが引き起こされるリスクがあります。

医療・介護ベッドも電気製品であり品質・安全性が維持できる標準的な使用期間があります。取扱説明書に「耐用期間」等として記載されていますのでご確認ください。

医療・介護ベッド安全普及協議会とは

医療・介護ベッドのメーカーにより2002年12月に設立されました。ベッドを安心して使用して頂くためのハンドブックやマニュアルを作成し、ホームページに掲載しております。

最新情報はこちらからご確認ください

ホームページ <http://www.bed-anzen.org>

お問い合わせ先 03-3648-5510

受付時間 平日10時～17時(土日祝、年末年始を除く)



▶ 医療・介護ベッドの事故と対策について動画で確認いただけます。



『医療・介護ベッドに潜む危険』

～医療・介護ベッドを安全にお使いいただくために～

医療・介護ベッド安全普及協議会



介護ベッドのご利用者、ご家族、介助する方へ

『介護ベッドを安全に使用するには?』



医療・介護ベッド安全普及協議会
Safely Promotion Council for Medical and Home Care Bed

介護ベッドのご利用者、ご家族、介助する方へ

『介護ベッドを安全に使用するには?』

医療・介護ベッド安全普及協議会



続 医療・介護ベッド ここが危ない!!

あなたのベッドに思わぬ危険が潜んでいる?

2023年9月改定版



ご注意!

誤使用や想定外の使い方により医療・介護ベッドでの事故が発生しています。

今すぐ確認と対策を!

発行

医療・介護ベッド安全普及協議会

医療・介護ベッドまわりの事故の現状

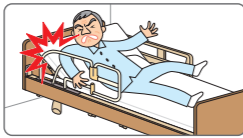
ここが危ない！

医療・介護ベッド関連の死亡・重傷事故が発生しています。事故の多くは危険があるかどうかの確認と正しい使い方によって未然に防ぐことができます。

サイドレール・ベッド用グリップのすき間の事故

33件 サイドレールなどの中に頭や手足が入り込み、挟まった。

- 手や足を入れたままベッドの背を上げた
- 手や足を入れたまま「起き上がった」「寝返りした」
- ベッドから転落したはずみで手や足が入った



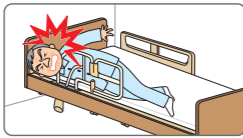
16件 サイドレールとサイドレール（ベッド用グリップ）とのすき間に首が入り込み、挟まった。

- 背を上げた状態で体位を保持できず、身体が横に倒れた
- サイドレールを逆向きに取付け、すき間が広がっていた



11件 サイドレールなどとボードのすき間に首が入り込み、挟まった。

- ベッドの外のものを取ろうとして身を乗り出した
- ベッドに適合していないサイドレールを使用していた



11件 サイドレールなどとマットレスやベッドフレームの間に挟まった。

- ベッドに適合していないマットレスを使用していた
- ベッドに適合していないサイドレールを使用していた
- 滑りやすいマットレスを使用していた

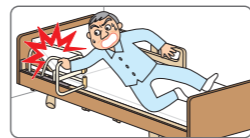


ベッド用グリップの固定ノブ・レバー関連事故

3件 着衣がベッド用グリップの固定レバーに引っかかり窒息した。

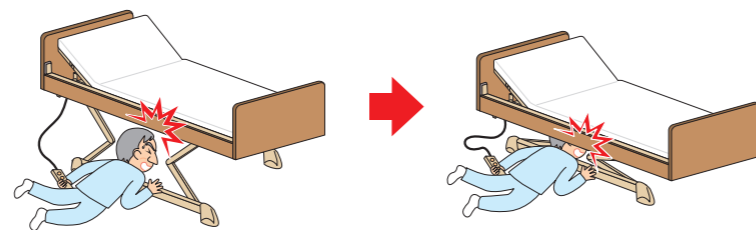


6件 アームの首振り固定されておらず、急に動いて転倒した。



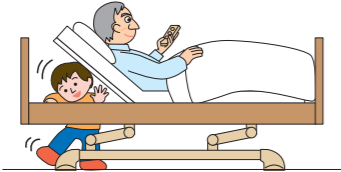
ベッドの高さ操作での事故

9件 ベッドの下に身体が入った状態で、ベッドの高さを下げたため挟まった。

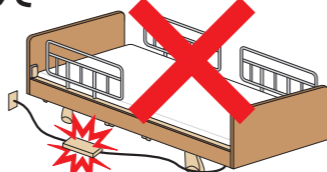


その他

ベッドを操作中に背ボトムなどの下に挟まった。



電源ケーブルやプラグが破損しショートして発煙・発火した。

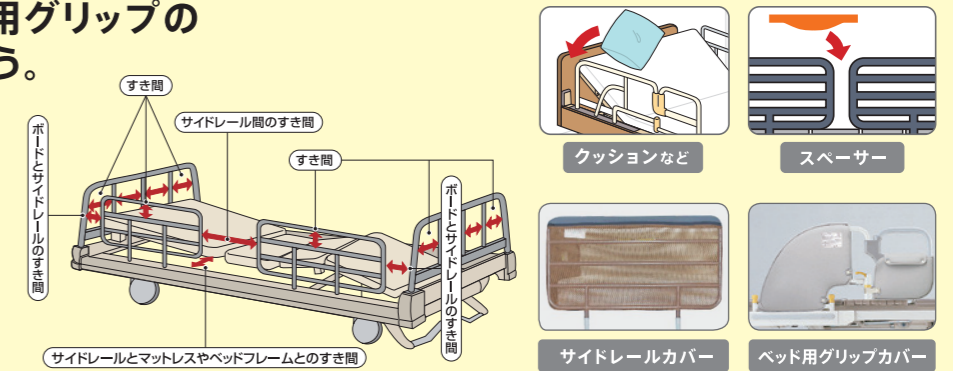


安全にご使用いただくための4つのポイント

1 すき間に注意

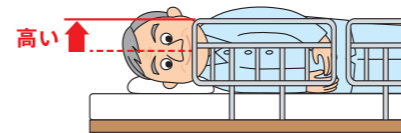
サイドレール・ベッド用グリップのすき間を確認しましょう。

- 利用者の身体状況に応じてカバーやクッションですき間を埋めましょう。
- すき間が狭い場合でも手などがはまり込む危険性を感じる時は毛布やカバーなどで覆いましょう。

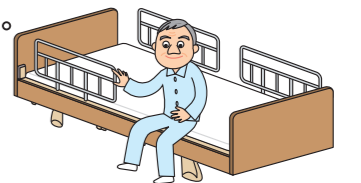


2 転倒・転落に注意

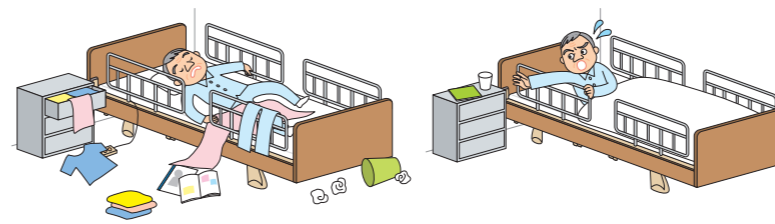
- マットレスの厚みを考えた高さのサイドレールを選びましょう。



- ベッドの高さは、常に低く（安全に移乗、端座位ができる高さ）にしておきましょう。



- ベッド周りは整理整頓し、利用者が無理な姿勢をとっていないか注意しましょう。

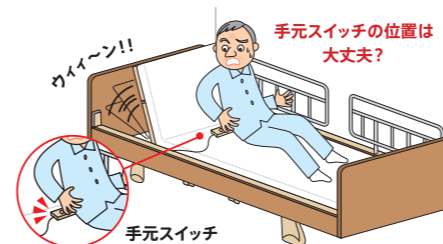


- ベッド用グリップなどは、必ず固定して使用しましょう。

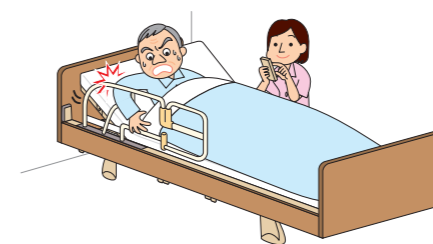


3 ベッド操作時の注意

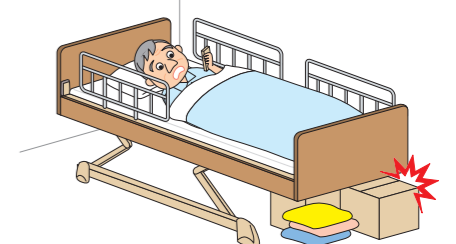
- 手元スイッチは安全な場所に置きましょう。



- 利用者の手足の位置を確認しましょう。



- ぶつかったり、挟まったりするものがないか確認しましょう。



4 使用前や使用中に

- 取扱説明書を必ず読み、使用前に正しい使用方法を理解しましょう。

- 故障かな?と思ったら必ず点検、修理を依頼しましょう。